

第134回拡大地方委員会 / 2月17日・リリオ

職場労働条件の改善、安全・安定輸送に全力

＝24春闘、北上市議選・平泉町議選の取り組みも確認＝



＝委員会は25人が参加し開催された＝

佐々木委員長の24春闘勝利、労働条件の改善

浮中明委員（盛岡地域分会）で進行
委員会は13時に及川孝執行副委員長の開会挨拶後、構成員の3分の2以上の出席を報告し委員会が成立していることを宣言。引き続き委員会議長に、浮中明委員（盛岡地域分会）を選出し就任挨拶を受け議事が進められた。

地方本部は2月17日（土）、第134回拡大地方委員会を盛岡市のリリオで委員・特別代議員・支部・分会代表者・地方本部役員含め約25人が参加する中で開催した。来賓には、東日本本部より武田幸喜書記長を招き、24春闘の動向・東日本本部を取り巻く情勢など報告を受けた。



発行所 国鉄労働組合 盛岡地方本部
発行者 佐々木 政 志
編集者 及川 孝
TEL 019-622-5021
メールアドレス nrumori@poem.ocn.ne.jp

2024.3.10
第1553号

拡大キャッチコピー
つなげよう次世代へ
届けよう私たちの思い
仲間が声を待っている

会宣言を読み上げ提案承認された。浮中議長は退任挨拶を受け及川副委員長が閉会の挨拶に立ち、浮中議長の労働条件の改善

9回定期地方大会以降の経過と当面する運動方針（案）の提案を行い討論へ。討論では5人の委員・特別代議員が職場の実態、新幹線で発生した電力関係の設備事故と感電事故の問題、24春闘、組織強化・拡大などについて発言があり執行部の答弁（裏面記載）と菊池書記長集約（裏面記載）が行われ、経過の承認と当面する運動方針が全体の拍手で承認された。

共済団体割引適用のため「鉄道退職者の会」加入意欲がされ、綾織執行委員が委員会宣言を読み上げ提案承認された。浮中議長は退任挨拶を受け及川副委員長が閉会の挨拶に立ち、浮中議長の労働条件の改善

その後、第2号議案で今後の地方本部組織の「在り方」規約改正（案）について提案・確認された。執行部からその他として、発出文書のメール配信化とマイカーの地方本部組織の「在り方」規約改正（案）について提案・確認された。執行部からその他として、発出文書のメール配信化とマイカー

▽3月のダイヤ改正で輸送でも企画業務を兼務するとされるが、少ない人数で日勤も少なく超勤が増える懸念

▽今冬は暖冬、小雪であるが奥羽線で事故停電のため6本の運休、50分遅れの輸送障害が発生しベテラン社員と5年目社員が対応。見習いを兼ねた社員が組んでいればスムーズな対応が出来ていたか不安が残る。

▽1月23日に新幹線における重大事故が発生したが、「電気変革2022」以降、感電事故が後を絶たない。解明要求を提出しているが、会社からの回答は遅れている。当面の対策である「検電・接地」の完全実施も徹底されていない。

▽現在プロパー社員、エルダー社員が半々の社員数になっているが、エルダー社員の期問満了に伴い社員数が減る。プロパー社員の採用も見込まれず、出向会社も「融合と連携」で対応していく不安がある。

▽3月には北上市議会議員選挙が施行され、星あつこ市議の当選に向け全力を挙げたい。

▽第95回ミーターの成功に向けて、盛岡地域分会から積極的な働きかけを行っていきたい。

○インバウンド増加に伴う英語案内は、強制はしないことと十分な教育を行っていくことを職場からも求めてほしい。

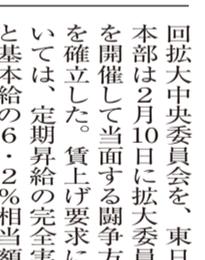
○輸送と企画業務の兼務は、異常時対応ができる体制を確保していくことが前提であり注視していかなければならない。

1月1日に発生した能登半島地震でお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りし、避難を余儀なくされている方々に心よりお見舞いを申し上げます。



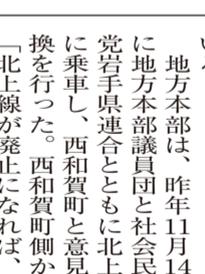
佐々木執行委員長あいきつ（要旨）

回拡大中央委員会を、東日本本部は2月10日に拡大委員会を開催して当面する闘争方針を確認した。賃上げ要求については、定期昇給の完全実施と基本給の6・2%相当額の17,000円を基本とするベースアップを統一要求とし、2月13日にJR各社に申し入れ回答指定日として3月13日とした。JR本体の賃上げのみならず、関係会社の労働条件改善に向けて適正な労働



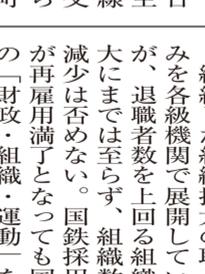
小原典昭委員（青森地域分会）

業務の価格転嫁ができるようJRにその環境整備を求めている。



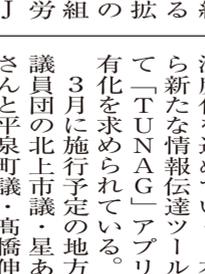
佐藤彦特別代議員（電気協議会）

地方本部は、昨年11月14日に地方本部議員団と社会民主党岩手県連合とともに北上線に乗り、西和賀町と意見交換を行った。西和賀町側から「北上線が廃止になれば、町そのものも無くなる危機感、利用の促進と観光面の強化、SNSや首都圏へのアンテナショップの展開」など自治体としての努力が報告された。地元自治体や地域住民の方々



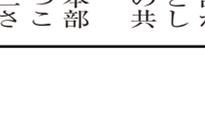
工藤慎一委員（北上地域分会）

の意思を尊重しながら持続可能な地域公共交通の維持を求めている。



米田勝義特別代議員（盛岡地域分会）

継続した組織拡大の取り組みを各級機関で展開しているが、退職者数を上回る組織拡大にまでは至らず、組織数の減少は否めない。国鉄採用組が再雇用満了となっても国労の「財政・組織・運動」をJR採用世代の仲間にも過度な負担をかけないような機関運営と横のつながりについても議論を深めていく。



千葉明告委員（一関地域分会）

東日本本部は、昨年の第37回定期大会において「今後の国労東日本本部「組織の在り方」と規約改正（案）について」を提案し、今後討論の深度化を進めていく。本部から新たな情報伝達ツールとして「TUNAG」アプリの共有化を求められている。

千葉明告委員（一関地域分会）

3月に施行予定の地方本部議員団の北上市議選・星あつこさんと平泉町議選・高橋伸二さんの選挙戦の必勝に向け奮闘しよう。混迷する国外情勢や、戦争への道を突き進む岸田内閣から「平和と民主主義」を取り戻す取り組みを要請したいと訴える。

方針討論

「融合と連携」における職場の実態

JRの安全問題と技術継承などで議論



小原典昭委員（青森地域分会）



佐藤彦特別代議員（電気協議会）



工藤慎一委員（北上地域分会）



米田勝義特別代議員（盛岡地域分会）



千葉明告委員（一関地域分会）

東日本本部・執行部の答弁

東日本本部による答弁は次の通り

○新幹線の大規模輸送障害に對しては、感電事故の詳細・対策を含め2月22日の団体交渉で求めていく

○「融合と連携」は今後、グループ会社全体に広めていく考えである。委託業務を解消して本体に戻している駅もあり、出向エルダーから本体エルダーへ戻る可能性もある。

○育児休暇については確認するが、病氣・出産休暇を含め期間率の減額はおかしいと会社に申し込んでいる。今後も改善を求めていく。

○JR・グループ会社とも、安全で安心して働き続けられる職場のなか点検をしていく必要がある。

○地域分会として、組合員の集まる場を提供し情報を共有することが大事であるので、積極的な取り組みをお願いしたい。

○インバウンド増加に伴う英語案内は、強制はしないことと十分な教育を行っていくことを職場からも求めてほしい。

○輸送と企画業務の兼務は、異常時対応ができる体制を確保していくことが前提であり注視していかなければならない。

○地域分会として、組合員の集まる場を提供し情報を共有することが大事であるので、積極的な取り組みをお願いしたい。

○JR・グループ会社とも、安全で安心して働き続けられる職場のなか点検をしていく必要がある。



「仕事・安全総点検運動」の取り組みを 北上市議選・平泉町議選勝利に向け全力

菊池書記長 集約 (要旨)

【労働条件改善・権利確立、安全・安定輸送確立の闘い】
1月23日には東北新幹線停電事故が発生し、二次災害として感電事故も発生した。事故の原因・再発防止策を明らかにさせなければならない。職場に労働組合がなくなるという事は、「安全・安定輸送」にも関わってくる問題である。若手社員の離職は企業にとって大きな損失である。技術継承、人材育成は労使の枠を超えた課題と言える。

持続可能な地域公共交通について、労働組合だけでなく、自治体、沿線住民が主体となって議論をしていく。災害時における鉄道輸送の冗長性を確保するためにも、その線区の特性を踏まえた議論を労働組合として求めて行く。

【2024年問題】
「いわゆる」2024年問題でのトラックにおける輸送力の減少や、地球環境問題が全世界共通の緊急な課題となる中で、鉄道貨物輸送の果たす役割は年々高まっている。会社施策を検証し、「安全・安定輸送の確立」「技術継承と人材育成」「利用者サービスの向上」と私たちが安心して働き続けられる労働条件・職場環境をつくるために、「仕事・安全総点検運動」に取り組んで行く。

【2024春闘の前進をめざす闘い】
政労使が「昨年以上の賃上げ、ベースアップ」を合唱しているが、一人当たり実質賃金が伸びない原因は新自由主義という経済政策の結果である。労働組合だからこそ会社と交渉ができる、議論ができるということを経済政策の結果に理解してもらうため、東日本本部ダイジェスト版、業務連絡報、貨物壁新聞の適宜活用、東日本本部が取り組んでいる賃金実態アンケートの呼びかけをお願いする。

3月5日にはリモートで中央総決起集会に参加する予定である。多くの組合員の結果をお願する。

【組織強化・拡大の闘い】
今年度は「5年ビジョン」の最終年度となる。本部は第91回定期全国大会の中で中間総括を明らかにし、「今後の課題と展望について全組合員が共通の課題として認識して再度、取り組む必要がある」としている。地方本部1名の組織拡大に向け、具現化が求められている。

東日本本部が提起している「組織の在り方」について議論を積み重ねて行く。JR採用組員が機関運営の中心となるため、負担軽減を図ることが求められる。私達は、「財政・組織・運動」を次世代に引き継がなければならない。QRコードを活用した「TUNAG」を、全組合員が前向きに受け止めていたいただきたい。限られた時間を意識し、全組合員が「当事者意識」を持ち、「遊び心」を胸に秘めて、「もう一人の

青年、もう一人の女性」の拡大に全力を挙げよう。

【平和と民主主義を守る闘い】
「成長と分配の好循環」を岸田首相は掲げてきたが、「聖域なき構造改革」やアベノミクスが私たち労働者、とりわけ交通・運輸労働者に何をもたらしたのか、改めて考えなければならぬ。

政治を私たちの手に取り戻すためにも、足元を固めて行かなければならない。北上市議選、平泉町議選、そして解散・総選挙で推薦予定候補者の必勝に向けた取り組みを強化していく。雇用と平和を守る闘いは労働組合にとって最重要課題であり、国労はこの一貫して平和と民主主義を擁護し、基本的人権と生存権を守るために奮闘してきた。平和環境岩手県センター・青森県平和労働会議との連携を強め、選挙戦勝利に向けて取り組みを強めて行く。

来賓・東日本本部あいさつ (要旨)



武田幸喜書記長 (国労東日本本部)

2月10日に東日本本部第41回拡大委員会を開催し、2024春闘をはじめ当面する取り組みについて意思統一を図った。

1月23日、新幹線上野〜大宮間で大規模輸送障害が発生し、復旧に当たった作業員が感電するという二次災害が発

生じた。新幹線統括本部に対し、原因の究明と対策を求める緊急申し入れを提出し2月22日に交渉を行う。

2024春闘について、JR東日本・JR貨物ともべア1万7千円、2月13日に会社に提出。JR東日本は夏季手当交渉も同時に行われる。現在

取り組んでいる賃金アンケートに組合員はもとより労組未加入者・他労組の声も集約していく。

今後の東日本本部の組織のあり方については、引き続き議論を深めていく。組合員の情報伝達ツール「TUNAG」の共有を図っていく。

組織内候補者の 当選に向け全力を

北上市議会議員選挙

星あつこ氏



プロフィール

1958年12月8日生まれ
◆1999年リサイクルショップ運営
◆2004年初当選
◆2020年5期目当選

〒024-0013 住所 北上市藤沢19-114-6
電話&FAX 0197-63-5366

星あつこ後援会

平泉町議会議員選挙

高橋伸二氏



プロフィール

1952年(昭和27年)3月9日生まれ
◆昭和45年6月 日本国有鉄道入社
◆平成27年7月 JR東日本会社退職
◆平成28年4月 平泉町議会議員(2期目)

〒029-4101 住所 平泉町長島宇竜ヶ坂24
電話 090-3362-1684

高橋しんじ後援会

5年間で総額43兆円にのぼる防衛費増を決めた日本政府は、私達、労働者には全く光を与えてくれない。ロシアのウクライナ侵攻から2年を迎えたが、これまでの経済制裁の効果は出ているのだろうか。最近のニュースを見る限りバイデン米政権が画くシナリオ通りには事が進んでいないように映る。制裁によりロシアを弱体化させる目論見だつたはずだ。食料を得ようと街に出れば物価高。電気料金の高騰と相まって、退職後の大幅減額に対応出来ず生活様式を改められない私は毎日、空腹を我慢しきれない。元旦には、能登半島地震が発生し、いまだに1万人を超える人々が避難生活を余儀なくされている。この地震によって亡くなった方々に改めて哀悼の意を表するとともに、ご遺族と被災された方々に心からお見舞いを申し上げる。私達も13年前の東日本大震災で「当たり前の生活」を失う経験をした。3月とは思えぬ寒さの中、激しい揺れに怯ながら外に逃げ出して、車の中で暖をとる暇すら余震に慄いた。やがて夜が深く静まり返って、凍るような沈黙に支配され五体を震わせていた。沿岸にお住まいの方はさらに筆舌に尽くし難い試練に遭われた。4日後に停電が復旧しテレビ画面を通じて観た各地の被害状況に愕然とした。暫くしてスピーカーから、そつと寄り添ってくるような優しく温かい「響き」が聞こえ始めその歌詞に救われた。先日、当時を振り返りその復興支援ソングを聞き直してみる。いま必要なのは「希望の光」。一刻も早い戦争の終結と被災地の復興を祈るばかりである。(綾)